

:JICA 日系社会シニア海外協力隊の小澤道子です。アルゼンチンからお便りします。

ここアルゼンチンでは、1月は夏です。  
夏休みを利用して、パタゴニアの最南端を旅行しました。  
今回はその旅行記としてお伝えします。

パタゴニアは、ここサルタからルート 40 という  
縦断道路でつながっているのですが、  
今回は最初の目的地、エル・カラファテまで  
コルドバ経由の飛行機で行くことにしました。

### 1月6日(日曜日)

コルドバ行きの飛行機は朝9時30分のはずでしたが、  
いつまでたっても飛行機が飛びません。  
サルターコルドバ間は、悪天候のためにたびたび  
遅れたり、欠航になったりするのですが・・・  
サルタ上空は問題無し。  
えっ、コルドバの飛行場が閉鎖？  
飛行機乗り継げないでしょ？

案の定、3時間遅れでコルドバについたときは、  
カラファテ行きの飛行機は出た後。  
なんだか幸先悪い予感！

でも、さすがアルゼンチン航空。  
次の朝の飛行機に乗ることになった私たちを  
ホテル・シェラトンに泊めてくれました。  
(ちょっとラッキー。)

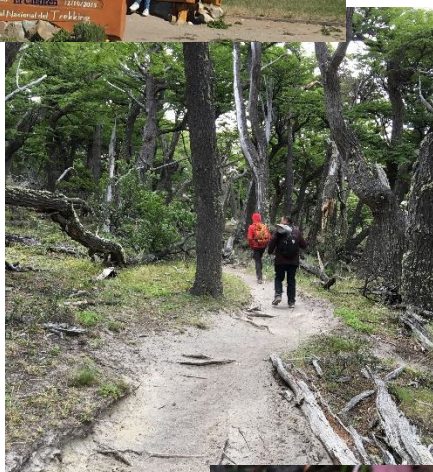
### 1月7日(月曜日)

お昼を過ぎたころ無事エル・カラファテに到着しました。  
ここでアメリカから来た友人と合流し、  
久しぶりの再会に祝杯。



## 1月8日(火曜日)

当初予定していたエル・カラファテ観光は後回しにして、一番の目的地であるエル・チャルテンへ移動しました。エル・チャルテンは、エル・カラファテからバスで3時間ほど北へ行ったところにある小さな町ですが、アウトドアのメッカとして知られています。特にロック・クライミングの聖地として、世界中からロック・クライマーが集まって来ます。アメリカのアウト・ドア衣料用品ブランド『パタゴニア』のロゴにもなっているフィッツ・ロイ山はエル・チャルテンの象徴です。トレッキングコースも充実しており年齢を問わず雄大な自然に接することができます。私たちもトレッキングをしたり、乗馬を体験したりと大いに自然を満喫しました。



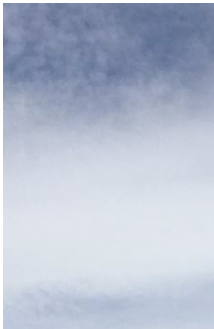
厳しい環境にも耐え  
けなげに咲く花たち。



1月15日(火曜日)

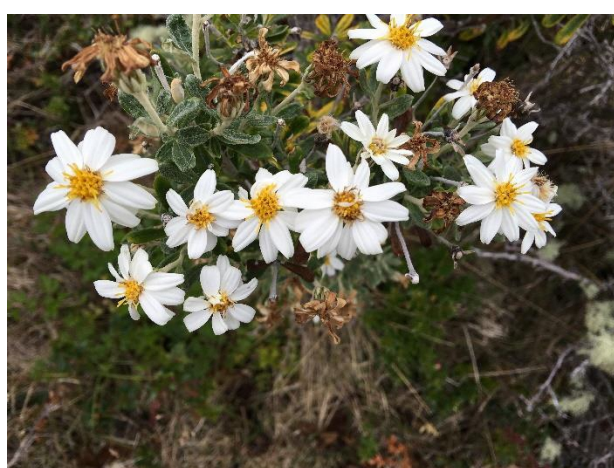
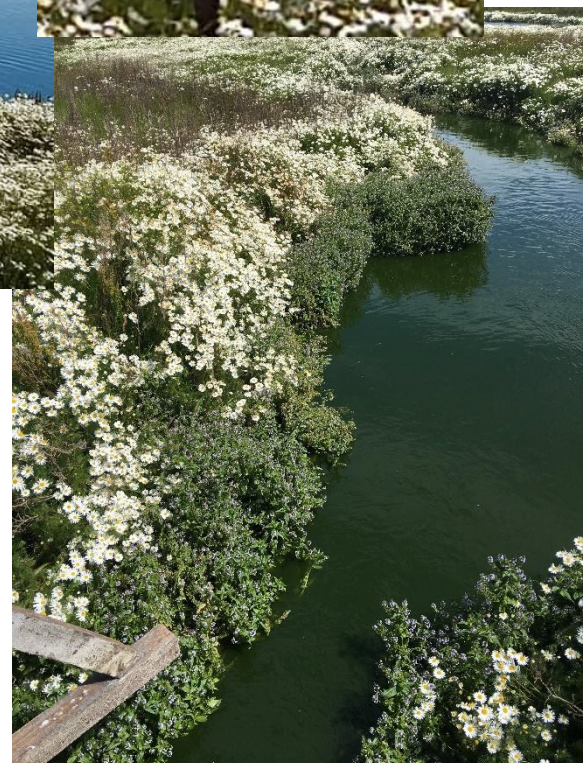
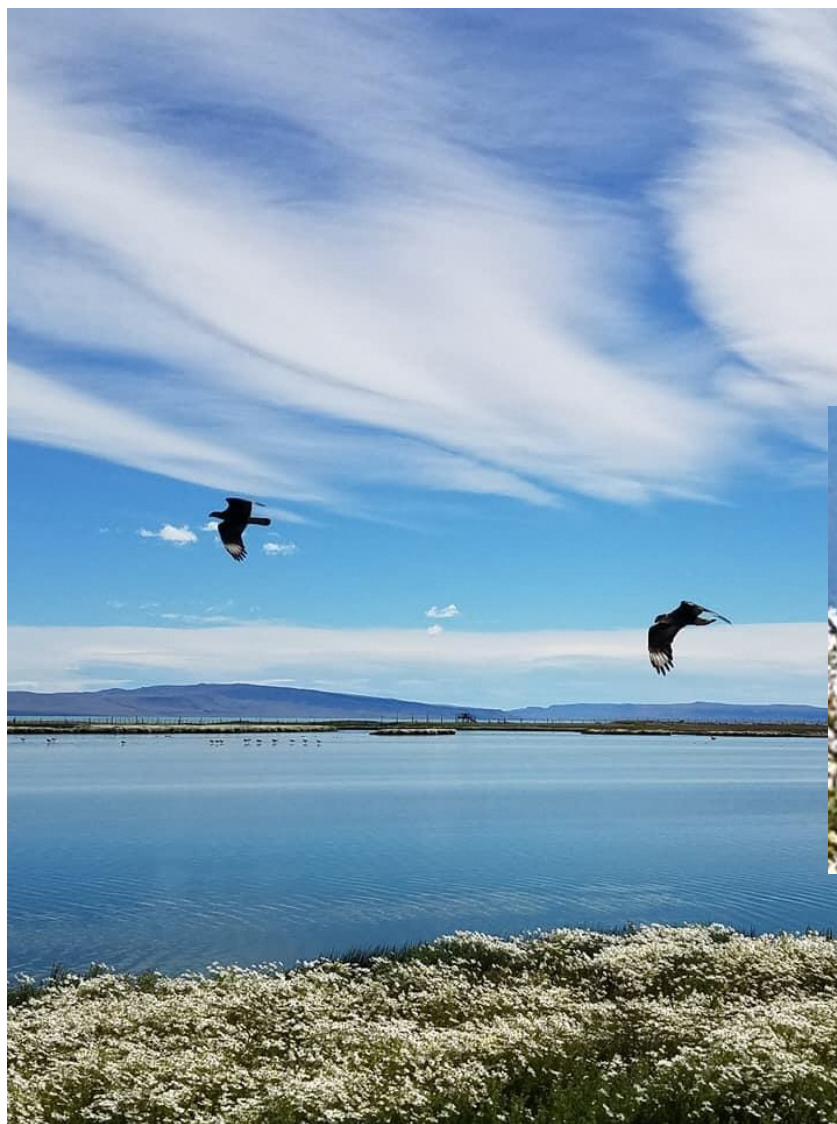
8日間滞在したエル・チャルテンを後に、再びエル・カラファテへ。

パタゴニアに来た人は必ず訪れるというペリト・モレノ氷河を見学しました。この氷河の上を歩くトレッキング・ツアーもあるのですが、65歳以下という制約があり、やむなく断念。でも、巨大な氷河の断片が轟音を立てて崩れる様は、実に雄大で、アメリカ人の友人に『神の作り物』と言わせたほどです。





エル・カラファテは、『アルゼンチンの湖』という名前の湖に面しています。この湖のほとりに鳥や野生動物の保護地区があります。今の季節マーガレットの花が満開でとてもきれいでした。





1月18日(金曜日)

アメリカからの友人と共にする旅の最終目的地は最南端の町ウシュアイアです。  
ビーグル水道にある小さな島や岩礁にペンギンやアザラシ、海鳥がたくさん生息しています。そして、タラバガニを食べることができる町でもあります。海から遠いサルタに住んでいる福井県出身の私（ズワイガニ大好き）の最大の楽しみはやはりタラバガニを食することです。おかげさまで美味しくいただいて来ました。





この町はいつも強い風が吹いています。夏だと言うのに本当に寒いところでした。当然ですよ。すぐそこはもう南極なんですから。



### 1月23日(水曜日)

アメリカからの友人と別れ、コルドバに戻りました。コルドバに住む日系移民一世の日本語教師さとこ先生に会うのが目的です。87歳というのにまだボランティアで日本語を教えている現役の日本語教師です。本当にお若いですね。



そして、せっかく来たのですから、コスキン祭へ。前日から天気あまりよくなかったせいか、当日券を買うことができました。



日本代表、福島県川俣町から来た方たちにも会うことができましたよ。





**1月27日(日曜日)**

長い旅行を終えサルタに戻りました。あー、疲れた！！

明日からまた活動が始まります。でも、こんなに楽しんだのだから頑張ります。

